

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	23	事業名	国際化事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	----	-----	-------	------	---------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	7	地域全体で国際交流を進める	款	2	総務費
		施策の進め方	-		項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	目	10	国際化事業費
		政策分類	1	住民の力を生かした新しい役割分担の仕組みをつくる	大事業	2	国際化事業
	その他(関係法令、要綱等)	長久手市国際交流協会運営事業費補助金交付要綱					
事業開始の背景、経緯等	平成4年度にベルギー王国ワテロー市と姉妹都市友好提携を結び、交流を続けている。市内外国人や留学生と市民との交流を推進する事業を実施している。また、平成6年度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付している。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内に生活する外国人や留学生と市民との交流を図りながら、次の多文化共生に係る事業を推進する。 ①ベルギー王国ワテロー市との姉妹都市交流 ②国際交流協会					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流に対する関心、相互理解を深める。					
	事業を構成する事務事業	① 国際化事務事業	拡充	④			
	② 国際交流協会補助事業	拡充	⑤				
	③ 姉妹都市事業	拡充	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		9,590	7,652	5,933
決算					8,565	3,022	3,294	
人件費(B)	千円	決算		9,166	5,729	5,960		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		17,731	8,751	9,254		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 国際交流協会事業参加者総数	人	目標	5,000	3,500	4,400	3,300	5,000
			実績	5,500	4,000	3,000	5,000	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) A 国際化事業として具体的に市民参加している国際交流協会事業への総参加者数を、その成果指標とする。 B C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町: 瀬戸市、日進市、尾張旭市、東郷町、豊明市
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 国際交流協会事業の参加者実績は、姉妹都市25周年や関連事業を大々的に実施することで、増加につながった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民主体の事業形態とするのを目的に市国際交流協会事務局を分離・独立させるために、市と協会の事業を明確化し、独立のための具体的な方策を検討する必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市が行う国際化事業の明確化、及び市国際交流協会の市から事務局分離独立についてスケジュールを明確化する。姉妹都市交流は、青少年訪問団派遣以外のイベント・交流事業の検討をする。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 国際交流協会事務局独立への円滑な移行、また、独立後より良い運営となるための準備を完了する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国際化事業										
番号	①	事務事業名	国際化事務事業		款	2	項	1	目	10	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成4年度		終了（予定）年度		—						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民及び行政が国際交流を行うための、大使館等への出張旅費、表敬訪問対応、国際郵便等の筆耕翻訳国際交流等を行っている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	他団体との交流を通して、国際交流に対する関心、相互理解を深める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		451	789	789	878
		決算		259	212	308	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①		ビデオレター制作委託				99	千円
②		消耗品費				65	千円
③		特別旅費				52	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
表敬訪問回数	回	目標	3	3	3	3	3
		実績	1	2	1	1	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
・平成29年度実績：JICA青年海外協力隊として派遣される本市在住の教員の表敬訪問受入（6/22 2人）							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

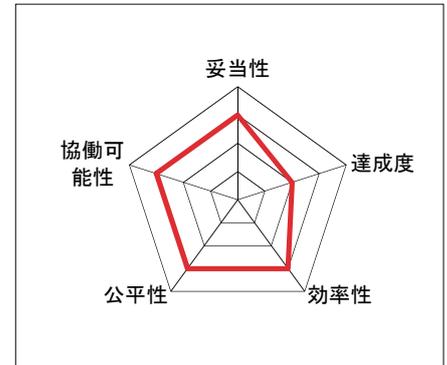
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
国では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るため、「ホストタウン構想」を展開している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
これまでの取組に加え、2020年の東京オリンピックに向けて、ホストタウン構想の推進に向けた取組を実施していく。
(何をどのような状態に改善したのか)
ホストタウン構想の推進や登録申請に向けて、他市町の実施事業の情報収集や関連会議等への参加をした。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
ワートルロー市との姉妹都市提携25周年を祝うビデオレターを国際交流協会のイベントで制作することで、市民レベルの国際交流への関心を深め、平成30年度の姉妹都市訪問団派遣への啓発につながった。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
ホストタウンへの登録申請に向けて進んでおらず、事業計画・事業実施のための情報収集等を実施する必要がある。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
大使館やベルギー関連団体等との接触を図り、2020年の東京オリンピックに向けて、ホストタウン構想の推進に向けた取組を実施していく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国際化事業									
番号	②	事務事業名	国際交流協会補助事業	款	2	項	1	目	10	大事業	2	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成6年度	終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	長久手市国際交流協会を、市民、大学、企業と行政とをつなぐパイプ役として位置づけ、協会に対し、事業費を補助する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	協会が自主的・自発的に国際理解や国際協力のために必要な施策を展開できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		4,796	2,923	2,970	2,923
		決算		4,796	2,688	2,970	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①	市国際交流協会補助金		2,970 千円				
②			千円				
③			千円				

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
国際交流協会個人会員数	人	目標	460	500	500	500	500
		実績	487	421	397	421	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
国際交流協会実施事業：国際交流フェスタ（3/4）、弁論大会（12/10）、近隣大学留学生ホームステイ受入、機関誌作成、日本語教室運営（木・土曜日に月3回程度）など							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

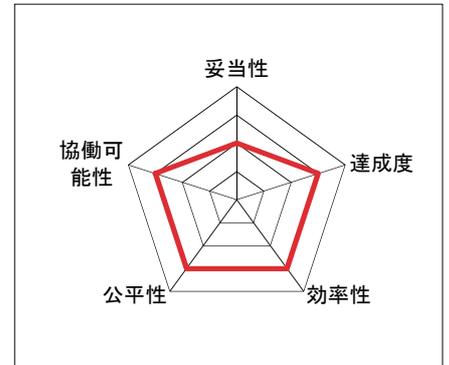
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
現在、協会事務を市職員が兼職で行っているが、専任の職員を協会に雇用し、より魅力ある国際交流事業を実施していけるよう取組中である。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
長久手市国際交流協会の事業内容の見直しを含めた補助額の再検討を行う。また、国際交流協会の事務の効率化を図り、独立を進めることにより、民間による幅広く多彩な事業展開の実現を目指す。
(何をどのような状態に改善したのか)
長久手市国際交流協会独立を視野に入れ、姉妹都市訪問団の対応など、協会事業と市事業の区別を明確化し、予算計上を行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
長久手市国際交流協会独立を視野に入れ、協会事業と市事業の区別を明確化し、予算計上を行った。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
長久手市国際交流協会では、独立に向けて自立した運営を模索しているが、ボランティアによって成り立っていることもあり、難航している。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
長久手市国際交流協会の事業内容の見直しや、事務局職員の増強を検討し、補助額を決定する。また、国際交流協会の事務の効率化を図り、独立を進めることにより、民間による幅広く多彩な事業展開の実現を目指す。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国際化事業										
番号	③	事務事業名	姉妹都市事業		款	2	項	1	目	10	大事業	2	中事業	3
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成4年度		終了（予定）年度	—								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民及び行政が姉妹都市ベルギー王国ワートルロー市との友好親善を深めるための訪問団相互派遣、国際郵便筆耕翻訳等を行っている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流に対する関心、相互理解を深める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		4,343	3,940	2,174	7,651
		決算		3,510	122	16	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 筆耕翻訳料						16	千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市民訪問団応募者数	人	目標	—	10	—	—	20
		実績	—	10	—	—	—
ワートルロー市からの訪問団受入数	人	目標	12	—	—	10	—
		実績	12	—	—	—	—
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
<ul style="list-style-type: none"> ワートルロー市との書状のやりとり：2件 青少年姉妹都市訪問団の受入は中止 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

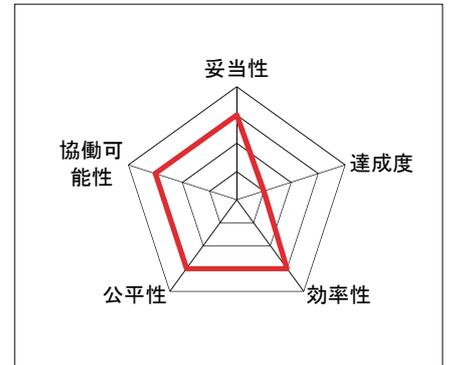
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、姉妹都市交流については市事業として実施していく。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞ 平成28年度は長久手市からワートルロー市へ青少年姉妹都市訪問団を派遣する予定であったが、欧州の情勢を考慮し、派遣を取りやめたため、その分の委託費等を使用せず予算額と決算額に大きな差が生じた。 現状の取組は、受益者が限定されている取組が多いため、今後はより広い範囲が対象となる取組を検討する。
(何をどのような状態に改善したのか) 平成29年度は訪問団受入事業が中止となったが、平成30年度に予定している訪問団派遣につなげるため、市国際交流協会との共催イベントなどで市民への周知・啓発を実施した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
国際交流協会と共催し、姉妹都市交流の啓発事業を実施することができた。

【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
青少年姉妹都市訪問団の行き来が数年滞っており、直接の交流が少なく、市民等の姉妹都市の認知度が低下している。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
平成29年度はワートルロー市からの青少年姉妹都市訪問団を受け入れる予定であったが、ワートルロー市側の都合により中止となった。 平成30年度は長久手市からの派遣を予定しており、市民への周知・啓発に努める。